

学科再編後(2025年4月以降) 情報科学科は新しく生まれ変わります

新しい情報科学科の概要

近年注目を集めている人工知能や深層学習をベースとしたデータサイエンス的な手法に加え、情報科学の基礎理論に関する深い理解に基づいた応用技術により、情報セキュリティ、ネットワーク、インタラクティブコンピューティング、マルチメディアの各領域について、新しい価値を創出し、国際的に活躍できる研究者・ソフトウェアエンジニアを育成します。

学科再編後(2025年4月以降)

新しい情報科学科の特徴

- 都立大の情報系研究者を一つの学科に集結し、情報系分野の幅広い研究教育を推進
- 従来のオリンピック入試に加え、高校の授業「情報II」に対応した新たな入試枠を新設し、更なる多様な人材の確保に注力
- 流行りの技術を表面的に追いかけるのではなく、新たな技術的価値の創出につながる基礎分野の理解を重視した研究教育を推進

再編による変更点・強化ポイント(1)

入試の観点：名称上、「情報科学科」と「電子情報システム工学科」の区別が難しくなっていたため、**情報系の教育単位を束ねて一つの入試区分**とすることで、「高校生にわかりやすい入試」を実現

カリキュラムの観点：上記両学科の情報系を統合することで、旧両学科での情報系教育内容の違いや授業科目の偏りが解消され、今まで以上に**充実した情報系カリキュラムの提供**

対外的競争力の観点：**本学並びに本学部としての情報系教育重視の姿勢**を明確にし、2025年度からの新課程入試に積極的に対応することで、入学当初から情報分野の学習に深く興味を持つ学生の入学を奨励

再編による変更点・強化ポイント(2)

教育の観点：習得すべき学問体系が等しい学生を同一学科に在籍させることは、**学生相互のコミュニケーションを促進**し、授業時間外での学びの可能性を増大させる。結果としての学科規模の拡大は、授業や演習、研究指導のバリエーション増加に繋がり、**教育環境の底上げ**が期待

研究活動の観点：情報系の学科区分による仕切りの廃止は、**学生の興味に沿った研究教育を可能**とする。専門の近い教員が同じ学科に所属することは、研究協力を促進し、新たな研究課題の発見や多様な専門性を活かした総合的な課題解決法の議論が進み、**学科の研究レベルの向上**が期待

※学科の再編は、現在構想中のものであり、内容が変更になる可能性があります。